

なんでそんなふうにしたんだろう？

～「なぜ」に迫る言語学～

よく見てみると、

ことばには不思議がいっぱい

日ごろ当たり前のように使っていることばでも、いざ考え始めると意外と不思議に見えてきます。たとえば、「財布が見つかった」と言った後で、なんでそんなふうにしたんだろう、「財布を見つけた」と言ってもよかったのに、と思えたりします。そんなことを考え始めると、「彼は顔が赤い」と「彼の顔が赤い」は同じ意味だろうか、英語でもHe is red in the faceとHis face is redという表現があるけどどう使い分けられているんだろうと、どんどん疑問が湧いてきます。みなさんだったら、そんな疑問にどう答えるでしょうか。これらの表現は同じことを伝えているようでもどこか伝えたいことが違う、と感ずる方も多いのではないのでしょうか。この「伝えたいこと」に注目すると、文法という無味乾燥に思えるルールにも、背後に人間らしさが見えてきます。このセミナーでは、言語学の中でも特に「認知言語学」と呼ばれる分野が、人間らしさという捉えどころのないような一面にどのように切り込んでいくのかを、私の研究事例と共にご紹介します。このセミナーを通して、一見とっつきづらそうな文法を身近に感じてもらい、そこから人間の心について考えるきっかけを得ていただければ幸いです。中学生から高校生、保護者の方までどなたでも歓迎です。ご家族、ご友人をお誘い合わせのうえ、ふるってご参加ください。お待ちしております。

— 講演者 —

野中 大輔 (のなか だいすけ) K会英語科講師／東京大学大学院 言語学専攻

- 開催日時：8月9日(土) 14:00～16:00(開場 13:30～)
- 会場：K会本郷教室(河合塾本郷校2階)
- 参加費：無料(筆記用具をご持参ください)
- 申込方法：K会事務局までお電話ください。
※定員になり次第、締切とさせていただきます。
- お問い合わせ先：☎0120-540-315
受付時間:13:00～20:00(日・祝休み)
※講習・イベント時除く
- ホームページアドレス：www.kawai-juku.ac.jp/kkai/

